

令和 6 年 8 月 7 日
都市整備部都市交通輸送計画担当
都市整備部地下鉄 8 号線事業推進課
都市整備部沿線まちづくり担当
土木部地域交通課

令和 7 年度 東京都に対する要望事項について

- 1 地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)の着実な整備等について (都市整備局)
- 2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化及び安全対策の一層の推進について (都市整備局)
- 3 都営バス等交通網の整備、充実について (交通局、都市整備局)

(交通対策推進・地下鉄 8 号線延伸特別委員会)

東京都予算に対する要望事項比較表

(交通対策推進・地下鉄 8 号線延伸特別委員会)

令和 6 年度要望事項	令和 7 年度要望事項 (案)
1 地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)の着実な整備等について 地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)は、国際競争力強化の拠点である臨海副都心と都区部東部等のアクセス利便性を向上させるほか、混雑著しい東京メトロ東西線の混雑緩和等に寄与するなど、首都東京の都市基盤をより堅固なものにするために不可欠な路線である。<u>現在公表されている計画では 2030 年代半ばを開業目標としており、本区では、本路線の整備を推進するとともに、沿線のまちづくりに取り組んでいる。</u> また、本区は、東京地下鉄株式会社に対し、臨海副都心と都区部東部の観光拠点等とのアクセス利便性の更なる向上に資する半蔵門線錦糸町駅・押上駅との直通運転の実施や、中間新駅（（仮称）枝川駅・（仮称）千石駅）の名称決定に際しての地域の声の反映を求めている。 以上を踏まえ、次の点について要望する。 (1)計画どおりに整備が進められるよう、<u>工事着手に向けた手続きの円滑な実施</u>や必要な予算措置を行うこと。 (2)区が推進する地下鉄 8 号線延伸に合わせた沿線のまちづくりに対して協力すること。	1 地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)の着実な整備等について 地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)は、国際競争力強化の拠点である臨海副都心と都区部東部等のアクセス利便性を向上させるほか、混雑著しい東京メトロ東西線の混雑緩和等に寄与するなど、首都東京の都市基盤をより堅固なものにするために不可欠な路線であり、<u>令和 6 年 6 月には都市計画決定されている。</u>現在公表されている計画では 2030 年代半ばを開業目標としており、本区では、本路線の整備を推進するとともに、沿線のまちづくりに取り組んでいる。 また、本区は、東京地下鉄株式会社に対し、臨海副都心と都区部東部の観光拠点等とのアクセス利便性の更なる向上に資する半蔵門線錦糸町駅・押上駅との直通運転の実施や、中間新駅（（仮称）枝川駅・（仮称）千石駅）の名称決定に際しての地域の声の反映を求めている。 以上を踏まえ、次の点について要望する。 (1)計画どおりに整備が進められるよう、<u>東京地下鉄株式会社に対する地下高速鉄道整備事業費補助に必要な予算措置</u>を行うこと。 (2)区が推進する地下鉄 8 号線延伸に合わせた沿線のまちづくりに対して協力すること。

東京都予算に対する要望事項比較表

(交通対策推進・地下鉄 8 号線延伸特別委員会)

令和 6 年度要望事項	令和 7 年度要望事項 (案)
2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化及び安全対策の一層の推進について 本区では、全ての鉄道駅において、エレベーター等によるバリアフリー経路 1 ルートの整備が完了している。しかし、1 ルートだけでは、目的の出口やホームまで大幅な迂回を余儀なくされる場合があり、高齢者や障害者、ベビーカー利用者等の移動に配慮が必要な乗客にとって、各出入口におけるバリアフリー経路の整備は切実なものとなっている。 また、ホーム上の安全対策となるホームドア設置については、東京地下鉄株式会社において令和 7 年度までに全路線全駅整備完了予定と公表しているものの、東西線の木場駅と南砂町駅、半蔵門線の清澄白河駅と住吉駅は未だに設置されていない状況である。 さらに、木場駅のホーム拡張工事については、ピーク輸送人員の減少に伴うホーム混雑の緩和を受け工事の一時休止、南砂町駅のホームを 2 面 3 線に増設する工事については、工事内容が当初から変更されているとともに、工期の遅れが生じている状況である。 以上を踏まえ、次の点について要望する。 (1)鉄軌道駅における 2 ルート以上のバリアフリー経路整備が推進されるよう、鉄軌道事業者へ働きかけること。 (2)東京都市圏の交通政策を担う東京都として、区内各駅の安全対策としてホームドア設置を早期に行うよう、また、特に東西線木場駅については、安全対策とともに駅内装の改善を、南砂町駅改良工事については、早期に工事を完了させるよう東京地下鉄株式会社へ強く働きかけること。	2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化及び安全対策の一層の推進について 本区では、全ての鉄道駅において、エレベーター等によるバリアフリー経路 1 ルートの整備が完了している。しかし、1 ルートだけでは、目的の出口やホームまで大幅な迂回を余儀なくされる場合があり、高齢者や障害者、ベビーカー利用者等の移動に配慮が必要な乗客にとって、各出入口におけるバリアフリー経路の整備は切実なものとなっている。 また、ホーム上の安全対策となるホームドア設置については、東京地下鉄株式会社において令和 7 年度までに、<u>大規模改良工事中の南砂町駅の一部ホームを除き、全路線全駅整備完了予定と公表しているものの</u>、東西線の木場駅と南砂町駅、半蔵門線の清澄白河駅と住吉駅は未だに設置されていない状況である。 さらに、木場駅のホーム拡張工事については、ピーク輸送人員の減少に伴うホーム混雑の緩和を受け工事の一時休止、南砂町駅のホームを 2 面 3 線に増設する工事については、工事内容が当初から変更されているとともに、工期の遅れが生じている状況である。 以上を踏まえ、次の点について要望する。 (1)鉄軌道駅における 2 ルート以上のバリアフリー経路整備が推進されるよう、鉄軌道事業者へ働きかけること。 (2)東京都市圏の交通政策を担う東京都として、区内各駅の安全対策としてホームドア設置を早期に行うよう、また、特に東西線木場駅については、安全対策とともに駅内装の改善を、南砂町駅改良工事については、早期に工事を完了させるよう東京地下鉄株式会社へ強く働きかけること。

東京都予算に対する要望事項比較表

(交通対策推進・地下鉄8号線延伸特別委員会)

令和6年度要望事項	令和7年度要望事項(案)
3 都営バス等交通網の整備、充実について 都営バスは、日常の区民生活を支える公共交通として、本区において重要な役割を果たしており、とりわけ鉄道交通が不足している南北の移動においては、その中心を担っている。また、<u>今年度、千客万来施設の開業が予定されている</u>豊洲市場への利便性を高めるためにも、今まで以上に区内既成市街地と臨海部を結ぶ路線の充実が都営バスに求められている。 また、東京BRTは、臨海地域の交通需要増に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として位置づけられており、その運行による区民の利便性向上が期待されている。 こうした状況に加え、本区においては「江東区都市計画マスタープラン2022」の重点戦略2「未来の臨海部のまちづくり」を推進するため、東京ベイeSGプロジェクト等も踏まえ「<u>(仮称)江東区臨海部都市交通ビジョン</u>」を<u>今年度策定する予定である。</u> 以上を踏まえ、次の点について要望する。 (1)江東高齢者医療センター、昭和大学江東豊洲病院、がん研有明病院など医療施設へのアクセス利便性を充実させること。 (2)バス接近表示装置、屋根、ベンチが未設置のバス停留所施設の充実、新たな停留所の整備を図ること。 (3)江東区内各地域から豊洲市場や臨海部への更なる路線充実を図ること。また、インバウンド需要等によりひっ迫する臨海部へのバス路線において充実を図ること。 (4)東京BRTについて、新たに交通結節点としての活用が見込まれる新豊洲駅前への停留所設置を行うこと。 (5)本区臨海部における多様な移動手段の充実に向けて、区とも連携した取組みを推進すること。	3 都営バス等交通網の整備、充実について 都営バスは、日常の区民生活を支える公共交通として、本区において重要な役割を果たしており、とりわけ鉄道交通が不足している南北の移動においては、その中心を担っている。また、<u>令和6年2月に「豊洲 千客万来」が開業した</u>豊洲市場への利便性を高めるためにも、今まで以上に区内既成市街地と臨海部を結ぶ路線の充実が都営バスに求められている。 また、東京BRTは、臨海地域の交通需要増に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として位置づけられており、その運行による区民の利便性向上が期待されている。 こうした状況に加え、本区においては「江東区都市計画マスタープラン2022」の重点戦略2「未来の臨海部のまちづくり」を推進するため、東京ベイeSGプロジェクト等も踏まえ「<u>江東区臨海部都市交通ビジョン</u>」を<u>令和6年3月に策定している。</u> 以上を踏まえ、次の点について要望する。 (1)江東高齢者医療センター、昭和大学江東豊洲病院、がん研有明病院など医療施設へのアクセス利便性を充実させること。 (2)バス接近表示装置、屋根、ベンチが未設置のバス停留所施設の充実、新たな停留所の整備を図ること。 (3)江東区内各地域から豊洲市場や臨海部への更なる路線充実を図ること。また、インバウンド需要等によりひっ迫する臨海部へのバス路線において充実を図ること。 (4)東京BRTについて、新たに交通結節点としての活用が見込まれる新豊洲駅前への停留所設置を行うこと。 (5)本区臨海部における多様な移動手段の充実に向けて、区とも連携した取組みを推進すること。